

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立西舞鶴高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1実践テーマ	【 II IV 】
2実施対象者	ボランティア部1年生27名が舞鶴支援学校高等部生徒と交流を図った。
3展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他(学校祭準備期間を利用して交流会を実施した。)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4目 標 (ねらい)	舞鶴支援学校との交流を通じて、障害者への理解、共生社会の形成をめざす。
5取組内容	<p><8月28日(金)></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomを利用して交流会を実施した。詳細は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの学校紹介DVDの視聴 例年の交流の中で披露している書道パフォーマンスをDVDの中で紹介した。 3つのグループに分かれて交流 自己紹介の後、ゲーム(ジェスチャーゲーム、絵しりとり)を行った。



6主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 互いの学校について知る機会となった。 • 生徒がリーダーシップを発揮する貴重な機会となった。 • 障害のある方への理解を深めることができた。 • 違いを認めたと互いを尊重する気持ちを育むことができた。 • オンラインの活用について考える機会となった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>8月20日、24日、27日の三日間に渡り、事前指導及び打合せを行った。</p> <p>ゲームによる交流を実施したが、具体的な計画、詳細については生徒が決定した。</p>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • タブレットの扱い、Zoomの使用について不慣れな部分があり、円滑な運営ができなかった。 • タブレットの画面ではなく、大型スクリーンなどを使用した方がよかった。 • 交流する生徒が限定される。
9来年度以降の実施予定	<p>例年、本校の文化祭の取組のひとつとして実施している。来年度は、オンラインでの交流会も継続させつつ、例年のスタイルでの交流を実現したい。</p>